

パイロットフォレストにおける野生動物自動撮影調査結果について（7月調査分）

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、パイロットフォレストにおいて7月6日から27日までの3週間、自動撮影カメラによる野生動物撮影調査を行いました。今年度は7月と9月の年2回調査予定ですが、7月の調査は機材の操作・設定・集計等に慣れるための準備段階の調査と位置付けています。今回はカメラを合計13台設置。設置箇所は当地域の特徴である別寒辺牛湿原を周回する林道等の周辺としました。

調査の結果、下表のとおり哺乳類ではヒグマ、エゾシカ、エゾタヌキ、キタキツネ、ミンク、イタチ、エゾリス、エゾシマリス、ネズミ類、鳥類ではヤマシギを撮影しました。（エゾシカ、ヤマシギの撮影枚数が特に多いのは、同一動物がカメラの前に長時間居座ったことにより連続撮影されたものです。カメラは2分間の撮影間隔を取るよう設定しています。）

表 野生動物自動撮影調査結果集計表（平成 21 年 7 月調査分）

撮影された動物名	撮影枚数（単位：枚）
ヒグマ	3
エゾシカ	54
キタキツネ	1
エゾタヌキ	18
ミンク	4
イタチ	1
エゾリス	2
エゾシマリス	2
ネズミ類	2
ヤマシギ	55
不明鳥獣	2
合計 10 種	144

（主な撮影画像）



ヒグマ(7月16日 17:33 撮影)



エゾシカ(7月8日 9:45 撮影)



キタキツネ(7月20日 22:24 撮影)



エゾタヌキ(7月7日 19:09 撮影)



ミンク(7月26日 20:42 撮影)



エゾシマリス(7月20日 5:52 撮影)